

んどが二種以上の資料を使い、しかも、それらを複写して送るといふ、利用者に代わって行なう業務のため、現陣容ではその作業に追われて、資料の整備等までは手が回りかねている

特に文書による利用が増大し、そのうえ本県在住者が国会図書館や日比谷図書館に問い合わせ当然本館にて処理できるものは回送されるシステムになったことにより、この業務の体制の充実を考えなくてはならない。→〔表7、13〕

(2) 特許関係サービス

産業社会に欠くことのできない特許公報類公開閲覧所として、本年度はいわき市立常磐図書館が新たに指定され、本県には会津とともに3館となった。しかし所蔵される資料の量は明治以降のものを有する当館が最も多く、利用の増加とともに複写サービスはもち論のこと、専用の部屋を設けた文字通り公開閲覧できる体制にもっていけるようにしなければならない時期に来ているようだ。

昭和45年1月～12月における本県関係の特許および実用新案出願公告の件数は、特許 37件、実用新案 51件であり、「館報あづま…第21巻第5号」にその名称、出願人、分類等を掲載して広く紹介した。

その利用もこれらの出願状況を反映してか、実用新案が多い。→〔表8〕

(3) 複写サービス

実施3年目を迎え、その処理件数、枚数も急激に多くなってきている、もはや利用者が自由に複写利用をできる運用をしなければ、職員の手だけでは処理しきれなくなって来ている。→〔表9〕

(4) 特別貸出

主として調査研究のために、官公庁、報道機関等に貸出したもので、関係方面の資料作成に貢献している、本年度の貸出は264件、574冊に及んでいる。→〔表10〕

(5) 補助資料(ツール)の作成

① 郷土関係新聞記事索引

昭和44年5月より民報、民友の郷土紙について記事索引のカード化を実施し、44、45年の2か年分の作成を終えたが、その索引件名389件に及び、その調整につとめている、枚数16,000、件名の固定化と相まって、43年度以前と46年度以降と二方向に索引化を進めたいと考えている。

② 新聞クリッピング

昭和29年より、民報、民友について実施してきたが、記事索引化とともに、継続記事(連載もの)にとどめて実施している。本年中に実施した主なものは、インタビュー(報)、顔(友)、校章校歌(友)、この道(報)、日曜サロン(報)、宿場(友)、生きがいかけて(報)、文学碑めぐり(報)等があり、連載ものについては150余冊、さらに選挙、議会、文化、教育、社会等と分類合本されたものは1,200冊以上になり、貴重な資料として利用されている。

③ 特許関係県内出願者名簿

前述したとおり、特許37件、実用新案51件、意匠、商標23件となっている、これらについても県発明協会と協力してその名簿を発行できれば好都合であろう。

(6) 相互協力

調査相談における県内外の図書館からの資料貸借は

借りた冊数 13、 借りた相手の館数 6

貸した冊数 5、 貸した相手の館数 3

また相互照会によって処理した数は

照会した件数 15、 照会した相手の館数 8

照会を受けた件数8、 照会を受けた相手の館数7

となっており年々増加している。今後は県内図書館組織網を強化し、十分協力すると同時にすべての図書館からよく利用されるような県立図書館へと心がければならない。

3 過去5カ年間の利用状況の推移

利用者数についてはむしろ下降しているが、これは席借りの学生、生徒の数が減少しているためであり、さして問題にすることもない、館外個人貸出登録人員、その冊数および調査相談事務取扱件数等は41年から上昇の一途をたどり、45年は2倍半にもなっている。これは情報化時代として当然のことではあるが、図書館側の努力のあとを示しているものと評価されてしかるべきものであろう。〔表11、12、13〕

〔表4〕 利用者数 (昭和45.4～46.3)

職業別	人員		資料を利用しない者 (人)	計 (人)	構成比 (%)
	館内 (人)	館外 (人)			
1. 勤め人	1,992	3,677	2,188	7,857	8
2. 自家営業	324	341	249	914	1
3. 主婦	85	866	47	998	1
4. 無職その他	727	1,715	1,556	3,998	4
5. 学生・生徒	3,691	13,288	57,383	74,362	77
6. 児童	4,441	3,830	0	8,271	9
計	11,260	23,717	61,423	96,400	
男女別内訳(男)	7,404	12,961	34,713	55,078	57
(女)	3,856	10,756	26,710	41,322	43
1. 勤め人(男)	1,727	2,608	1,871	6,206	
(女)	265	1,069	317	1,651	
2. 自家営業(女)	324	341	248	918	
(女)			1	1	
3. 主婦(女)	85	866	47	998	
4. 無職その他(男)	681	1,489	1,365	3,535	
(女)	46	226	191	463	
5. 学生生徒(男)	2,020	6,609	31,229	39,858	
(女)	1,671	6,679	26,154	34,504	
6. 児童(男)	2,652	1,914	0	4,566	
(女)	1,789	1,916	0	3,705	

開館日数 279日 1日平均 345人

〔表5〕 利用図書冊数 (昭和45.4～46.3)

分類別	冊数	館内(冊)	館外(冊)	計(冊)	構成比(%)
0 総記	3,389		592	3,981	5.3
1 哲学・宗教	1,513		1,527	3,040	4.0
2 歴史・地誌	2,722		2,359	5,081	6.7
3 社会科学	2,859		4,095	6,954	9.2
4 自然科学	1,953		2,647	4,600	6.1
5 工学・工業	1,500		1,147	2,647	3.5
6 産業界	1,466		680	2,146	2.8
7 芸術・娯楽	1,649		2,479	4,128	5.5
8 語学	1,274		585	1,859	2.5
9 文学	4,769		13,975	18,744	24.8
児童	10,787		10,109	20,896	27.7
雑誌	1,283		129	1,412	1.9
計	35,164		40,324	75,488	100